



## ◇ 今回は、森雅稀さん（京都大学経済学部）。学園祭運営事務局で大活躍しました！

私は現在、京都大学経済学部の4回生として国際貿易論を勉強しています。以下、経済学部や京都大学という場所、そして私の大学生活について紹介したいと思います。

### 「経済学部」という場所

「経済学部は数学が得意な人が行く」「お金のことを学ぶ」「就職は銀行とか」……そんなことを思っている人は多いと思います。でも実際のところ、ちょっと違います。

まず、経済学の方針を一部紹介します。国際経済学、経済史、農業経済学、経済物理学、医療経済学、地域経済学、経済心理学、などなど。実は経済学部で学べる内容は非常に多岐にわたっていて、名前からもわかるように、文理問わず様々な学部の学問と密接に関係しています。

農学に興味がある子、地域に貢献したいという子、心理学を学びたい子、それ、経済学部でも「経済」という観点からできるかもしれません。それから、数学は得意でなくとも何とかありますし、卒業後の進路も本当にバラバラです。実際、私の就職先も金融業界ではありません。学部名のイメージにとらわれず、高校生のうちに勉強の息抜きにでも調べてみることをおすすめします、自分自身で。

### 「京都大学」という場所

たとえば経済学を学びたいと思ったとすると、東海地方にも色々な大学に経済学部があるわけで、わざわざ遠くの京都に進学する意味があるのかと思われるかもしれませんが、それでも、4年間過ごしてみて、地元を飛び出してよかったと思っています。それには大きく2つの理由があります。

1つ目は、ズバリ、レベルの高さです。iPS細胞の研究をはじめ、日本最先端の研究が行われていること、そしてその学部でなくても、様々な分野の最先端に触れる機会があることです。たとえば、京都大学の



特色として、「ILAS セミナー」という科目があります。1回生を対象に、少人数のゼミナール方式で行われる授業で、各分野の最先端が学べ、学部を問わず好きな講義を希望することができます(抽選)。先ほど挙げたiPS細胞に関する授業もちろんあります。大学内にとどまらず、長期休みを使って北海道や九州、瀬戸内などで行われる授業もあります。私は「京の水資源」という授業を学び、気象や水災害などの基礎や事例を学んだほか、野外実習も盛りだくさんで、実際に鴨川で魚をとってきて食べたり、山に登ったり、発電施設を見学するなど貴重な経験をすることができました。実は小さい頃から気象(天気)

に興味があり、文理選択もそれが理由で迷ったこともあった私にとっては、これ以上ない素晴らしい機会でした。このように、学部の専攻分野はもちろん、それ以外の分野においても、最先端の高いレベルを知ることができるのは京都大学の魅力です。

2つ目、これが主な理由になりますが、「人」の魅力です。周りの学生は全国から、それだけでなく世界中から本当に色々な人が集まっています、レベルも高く、京大ならではの変わった人もいて、刺激を受ける毎日です。少人数の小中学校出身の私からすると、関高校での3年間も刺激的なものでしたが、やはり大学には、比較にならない多様さといろんな意味での面白さが待っていました。

ほかにも理由はいくつかありますが、主にこういうわけで私は「思い切って京都大学に来てよかった」と思うのです。様々な大学、学部の魅力は調べたり聞いたりすれば情報はたくさん得られます。「情報を得てなんとなく志望校を決めて終わり」ではなく、自分は何がしたいのか、どこでならそれを実現できるのか、よく考えてみてください、自分自身で。

## 私の大学生活

はじめに述べたような経済学、特に専攻の国際貿易論については深く勉強してきましたが、一方で「大学生活の一番の思い出」と聞かれると、それはサークル活動です。大学祭の運営事務局の一員として活動し、10万人もの来場者をむかえる学園祭の成功に向けて尽力してきました。関高祭も毎年非常に楽しんだ思い出がありますが、比較にならないほど大規模な学園祭を裏方として支えたサークル活動は、貴重な経験になりました。



大学ではサークルや部活、留学や旅行など、勉強以外にも様々なことができる時間があります。自分が想像していた以上に、大学生活は最高に楽しいです。けれども、自由度が高すぎる分、ぼーっとしていると何も得られないまま終わってしまう場所でもあります。高校までのように、何をしたら良いかを誰かが教えてくれることはあまりありません。入学したら積極的に行動するといいいと思いますし、そのために、したいことを考えておくと良いと思います、自分自身で。

## メッセージ

受験はそれぞれの将来の夢や目標を叶えるための通過点に過ぎませんが、まずはその第一歩として、全力を尽くしてほしいです。その上で、注意してほしいことが1つあります。それは、勉強方法などに関する様々なアドバイス等を何も考えず鵜呑みにしないことです。成功した先輩や塾の教え、ネット上にあふれる勉強法など様々な情報に触れると思いますが、それはその人がうまくいっただけで、あなたにとって合うかどうかは分かりません（もちろん合うかもしれません）。一度は立ち止まって、自分の能力や性格と相談して「自分自身で」考えましょう。受験とは違いますが、たとえば、先ほど書いた「経済学部は数学得意じゃなくてもなんとかなる」だって、私一人の意見に過ぎないのです。

最後になりますが、私自身、ここまで振り返ってきた大学生活はもちろん、関高校での3年間も本当に楽しいものでしたし、当時の同級生と今でも遊ぶことがあります。勉強や部活、関高祭など、全力で青春を満喫してくださいね。勉強では周りの支えへの感謝や仲間との協力はもちろん大切ですが、一番大事なのは、やはり今の皆さん自身のがんばりです。苦しいことの連続かもしれませんが、ここを乗り越え将来を切り拓いていきましょう、自分自身で！ 応援しています。